

学校と家庭・地域をつなぐ

# ●白布城だより

2019 夏

栃木県立真岡高等学校定時制  
電話 0285-82-3413

栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1  
FAX 0285-82-2913

## ●巻頭言

### 定時制50年の歴史を胸に

教 頭 篠原 康宏

2019年は、平成31年としてスタートしましたが、5月1日、令和天皇が即位なされて、「令和元年」となりました。平成から令和へ。私たちは、大きな歴史の流れの中に生きている事実を、肌で感じたのではないのでしょうか。

そのような記念すべき年に、私は、真岡高校定時制に赴任しました。この、伝統ある白布ヶ丘の空気に触れて、身の引き締まる思いで学び舎に入ったのが、つい先日のような気がします。

「昼間、働きながら、夜、勉学に励む。」言葉で言うのは簡単ですが、いざ、実行するとなるとなかなか大変な苦勞が伴うと、想像するのは難しくないでしょう。しかし、初めて会った本校定時制生徒諸君の顔には、現在の生活に対する満足感と将来に対する希望溢れる期待感に打ち満ちている表情が浮かんでいたのを覚えています。そのような生徒諸君の様子を見ながら、私自身、新しい生活環境に、希望と勇気が湧いてきたのを感じました。さらに、本校定時制は、今年度、「夕夜間定時制高校」と、スタイルを改め、新しい時代の定時制高校として再出発しました。「夕間部定時制」コースは、午後3時30分から授業が始まります。二時限の授業だけ、これまで通りの「夜間部定時制」と合同になりますが、従来より、二時限分早く下校することになるコースです。また、希望によっては、「夕間部」と「夜間部」の双方の授業を受けて三年間で卒業できる「自校三修制」のコースも設置します。

このように、時代と共に真岡高校定時制も進化しています。そんな学び舎に学ぶ生徒諸君は、日に日に新たな知識と経験を身に付けて、本校に在学している間に「私ってどんなひと？」という疑問を常に念頭に置きながら、やがては「自己発見」に結びつけてくれることでしょう。

そんな生徒達を目の前にして、さまざまな面で支援して下さる本校定時制後援会の皆さま、陰ながらもあたたかく見守って下さる PTA の方々の御協力をいただきながら、私たち定時制教職員は、今年、創立50周年（全日制課程は120周年）を迎える栃木県立真岡高等学校のますますの充実を目標に掲げて、頑張っけて参りたいと存じます。今後とも、皆さまには、御理解御支援のほどを、よろしく願い申し上げます。

### 一学期のあしあと

#### 入学式

4月●日●曜日、平成31年度（令和元年度）の入学式が、本校講堂で行われました。

今年度、初めて「夕夜間定時制」となった本校ですが、21名の新入生は、200名の全日制新入生に臆することなく式に臨んでいました。

新入生、個々人の呼名の後、勝部幸治校長先生から、「入学を許可します。」と告げられ、本校生徒なった新入生ですが、引き続いて開催された定時制オリエンテーションでも、まだ、張り詰めた緊張感が漂っていました。

## 新任式・離任式

年度の切り替え時期には、出会いと別れがつきものです。今年度は、新たに、篠原康宏教頭先生（数学科）と伊沢敦夫先生（地理歴史・公民科）、そして公仕の中澤 務さんをお迎えしました。そして、山下拓男教頭先生（県教育委員会へ）と熊井清晃先生（宇都宮工業高校・定）とが転出されました。

新しくお出でになった篠原教頭先生は、●

## 始業式・対面式

## 交通講話

## 創立記念日

## 防火防災・避難訓練

新入生を迎えてスタートした今年度ですが、「災いは、いついかなる時に」訪れるか分かりません。そこで、本校では、1学期の早い時期（5月8日水曜日）に、生徒達が避難経路を確認する意味で避難訓練を行っています。

生徒達は、訓練であるために、落ち着いて避難していましたが、それなりに、真剣に行動していたようです。

## 進路探求 I

## 新体力テスト

5月も末の29日水曜日と30日木曜日の二日間、新体力テストが行われました。初日は人工芝校庭で、50m走、ハンドボール投げ、立ち幅跳びが行われました。

2日目は、体育館を会場にして、上体起こし、腹筋、握力、反復横跳び、シャトルランを行いました。

生徒は、若さ溢れる行動を見せてくれ、みんな真剣に全力で各種目に臨んでいました。

## 進路ガイダンス

## 性に関する講話

今年度も、芳賀赤十字病院の看護師長●●先生を招いて、「性に関する講話」が行われました。

高校生世代は、子供社会から大人社会への移行期にあたります。いろいろな意味で価値観の変異が見られたり、異性に対する興味関心が強くなったりします。しかし、誤った認識を持った行動や軽率な行動が、取り返しのつかない事実を招くこともあります。「大切なこと・素晴らしいこと」は紙一重で「悲惨なこと」になりかねません。人間、一人一人が、互いに思い遣る心をもって行動することが大切だと思いました。

## 真岡ライブラリーとの交流会

7月17日水曜日。生徒会役員の代表が真岡ライブラリーの方々と交流会を持ちました。本校からは、生徒会長の橋本明奈さん（4-1）をはじめ、田上祐子さん（4-1）、安田幸一くん（3-1）、中川凜華さん（2-2）の4名が、顧問の古澤秀友先生と共に参加。ライブラリーの5名（中3生1名、中2生2名、中1生2名）が出席し、みんなでトランプをしたり人狼ゲームをしたりしたあと、学校紹介や過去の入試問題の説明などの懇談会を持ち、楽しい一時を過ごしました。

# トピックス

## 県下高校初の夕夜間定時制高校の黎明

真岡高等学校定時制は、今年度から、「夕夜間定時制高校」と衣替えをしてスタートしました。

「夕夜間」とは、定時制課程を希望する生徒の選択肢を増やすことにより、一つの学校で、3つのコースから自分に適したコースが選べることになったのです。

まず1つは、従来の午後5時30分スタート、午後9時05分終業のコース。そして、新たに、午後3時30分始業で午後7時00分終業の夕間コースが新設されました。さらに、二つのコー

スを連結させた自校三修生コースが可能となり、一日6時間授業を受けることにより、3年間で卒業することもできます。中学生や保護者のニーズが多様化する現在、さまざまな希望に添える高等学校スタイルが求められています。

真岡高等学校定時制は、そのような時代の先駆けとなる高校として、日々、邁進して参ります。

## 平成から令和へ

平成31年度で幕を開けた今年ですが、4月1日の政府からの発表で、5月1日から元号が変わりました。

令和。さまざまな意味が語られたのも記憶に新しいところですが、日本国民は、新しい気持ちで「この時代」を過ごしています。

生徒達は、平成時代と変わることなく元気に学校生活を送っていますが、国家の空気の流れは静かに「令和時代」を築いていくことと思います。

## 生徒会役員選挙

6月5日水曜日、次期生徒会役員の選挙が行われました。

立会演説会、投票に先立ち、篠原教頭先生から挨拶があり、「本校生は、『静かにして！』と言われなくても静かになる。これは、素晴らしいこと。他校ではなかなか見られないことです。」との話に続き、「生徒会活動は、生徒の学校生活で一番大きな活動です。その代表を決めるのが今日です。皆さんの代表を決め、その方達の下で、会員みんなが一致団結して、よりよい学校生活を送れるように頑張りましょう。」と話されました。

立会演説会では、まず、副会長候補の篠崎柊斗くん(2-1)と中川凜華さん(2-2)、そして、それぞれの応援弁士である高橋 昇くん(2-1)と田上祐子さん(4-1)が、候補者の人となりを紹介しました。続いて、会長候補の安田幸一くん(3-1)の応援を橋本明奈さん(4-1)が行いました。それぞれの候補者は、これまでの生徒会活動の実績をアピールし、今後の抱負を語り、候補者全員が信任されました。

## 県定通総体 陸上部、田辺くん優勝

梅雨空の下の6月15日土曜日。県総合運動公園・宇都宮工業高校・宇都宮高校の各所に分かれて、今年度の県定時制通信制総合体育大会が開催されました。

本校からは、卓球部、サッカー部、バドミントン部、陸上競技部、柔道同好会が参加。それぞれ、日頃の練習の成果を発揮して頑張りました。サッカーなど、もう一步のところまで優勝を逃した競技もありましたが、次の項に挙げた種目で全国大会出場が決定しました。

なお、田辺 厚くん(3-1)は、5000mで優勝、1500mで2位という好成績を挙げました。

## バド、陸上競技、柔道、全国へ

定通総体県予選の結果、次の部活動の選手が、本県代表で全国大会に参加することが決まりました。

バドミントン部(団体)	上野	滉(3-1)
陸上競技部	1500m	田辺 厚(3-1)
	5000m	田辺 厚
	走り高跳び	長谷川悠斗(3-1)
柔道(団体)	直井	蓮(2-2)

## PTA総会

●月●日●曜日、今年度のPTA総会が本校自習室で行われました。事務局の伊沢敦夫先生の進行で始まった総会ですが、議事進行は、橋本清二会長が行い、無事、令和元年度の議題はすべて承認されました。

総会の後、出席した保護者はクラス懇談に移り、担任の先生から日頃の学校生活についての話がありました。

### 令和元年度のPTA役員一覧

会 長	橋本 清二(4)
副会長	高田 光子(3)
監 事	田上 秀美(4)
	長谷川さなえ(3)
理 事	大高智加子(4) タカツ エイコ(3) 篠原かよ子(2)

松山真智子（2）小島 修子（1）

### 定時制後援会総会

7月10日水曜日。恒例の定時制後援会総会が、フォーシーズン静風で開催されました。鈴木定男会長をはじめ、16名の参加があり、総会の議題も滞りなく審議されました。

今年は、前述したように、本校120周年、定時制50周年という節目の年に当たりますが、同窓生も数多く在籍する定時制後援会ですから、議論も熱を帯び、新たな方向性も話題になりました。

### 令和元年度 定時制後援会役員一覧

会長	鈴木 定男（株式会社 山都）
副会長	阿部 信也（宝永工業株式会社）
副会長	小池 敏之（真岡工業団地管理組合）
監査	二瓶 修治（富士ファイバーグラス株式会社）
監査	齊籐 敏彦（株式会社ホンデン）

### 校内生活体験発表会—清本ゆうじくん(3)、最優秀賞！

夏の暑さの片鱗が見え隠れする午後18時、この秋に開催される県高校定時制通信制文化発表会生活体験発表会の出場者決める校内発表会が、7月17日水曜日に開かれました。

今年度は、各クラスの担任先生が選んだ9名の代表者が競う発表会になりました。

審査員は、軽部校長先生を委員長として、篠原教頭、河上教務主任、佐藤先生（保健体育科）、木村先生（英語科）にPTAを代表して、監事の長谷川かおり様にお願ひしました。

少数新鋭の激戦が展開されたようですが、審査の結果、「今があるのは」との演題で発表した3年次1組の清本ゆうじくんが、最優秀賞に輝きました。優秀賞には、関谷優作くん（4-1）と鈴木隼人くん（3-1）が選ばれました。

清本くんは、この秋10月に開催される県大会でも、さらに力に磨きをかけて頑張ってもらいたいと思います。

なお、参加者は下記の通りです。（発表順）

「命の大切さ」	3-1	鈴木 隼人
「四年間を振り返って」	4-1	関谷 優作
「今があるのは」	3-1	清本ゆうじ
「私の過去・未来」	1-1	村上由香里
「柔道で教わった事の大切さ」	2-2	直井 蓮
「これまでの人生を振り返って」	1-1	白川 七海
「変化」	2-1	篠崎 柊人

また、この発表会を開催するに当たって、多くの生徒が協力してくれましたことを付記します。

揮毫 吉羽彩花（4-1）田上祐子（4-1）野沢茉衣（4-1）

司会進行 篠崎柊人（2-1）中川凜華（2-2）

その他、各説明、集計関係、審査関係で生徒会役員やHR委員の頑張りがありました。

### 校内体育大会

第一学期も大詰めを迎えた7月18日木曜日、本校体育館においてフットサル、バスケットボール、バドミントン、卓球による校内体育大会が開催されました。欠席する生徒もほとんどいず、全校生徒が真剣にゲームに参加していました。その結果は、以下のとおりです。

優勝	フットサル	●
	バスケットボール	●
	バドミントン	●
	卓球	●

### 第1学期終業式

まだ、長引く梅雨空の下、第1学期の終業式が7月19日金曜日に、本校多目的ホールにおいて行われました。

軽部校長先生から、「今学期、頑張った生徒は例年になく多い。戦いに挑む人、それは、部活動生だけではなく、普通の生徒みんなだ。『真岡高校定時制の卒業生は頑張っているよね。』といわれることがあるけれど、とても嬉しい。人間には、いろいろな人生があるが、頑張るときは

体を張って頑張り、我慢すべき時は我慢する。最後は、人間性がモノを言う。二学期の始業式に、ひとまわり遅くなった皆さんに会えるのを楽しみにしています。」と、述べられました。

その後、健康指導部、進路指導部、生徒指導部、そして篠原教頭先生からそれぞれ講話がありました。

特に、教頭先生からの「真高定時制の生徒は、シーンと話が聞ける。私語をする者がいない。また、挨拶ができる。皆勤賞受賞者も多い。当たり前なのが当たり前でできる。すごいなあ、っと思います。」という話は、印象に残りました。

来学期も、みんな互いに高め合って、よい環境を作り上げましょう。

## 令和元年度の定時制概要

### ●定時制課程教職員一覧

校長	軽部 幸治	
教頭	篠原 康宏	
教務	河上 敦朗	国語科
4年次1組	古澤 秀友	数学科
副担	大谷 武	国語科
3年次1組	木村美津子	英語科
副担	佐藤 成之	保健体育科
2年次1組	小森 法史	英語科
2組	横川 航一	数学科・情報科
副担	河上 敦朗	国語科
1年次1組夕	伊沢 敦夫	地歴・公民科
夜	篠原 義勝	理科
副担	鈴木久美子	養護
事務長	江田 正美	
主査	堀野 征則	
公仕	中澤 務	
学校栄養士	森田 彩子	

### ●出席率・在籍数(7月1日現在)

4年次1組	12	(6 + 科目履修生6)
3年次1組	16	
2年次1組	11	
2組	11	
1年次1組	21	(夕12 + 夜9)
合計	71	

白布の風